

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成27年1月14日(水) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

### 発 表 事 項

1. 「東北野生動物管理研究交流会 in やまがた」を開催します
2. 山形大学学生の継続的被災地復興支援活動「浦戸諸島桂島観光再生ツアー」  
参加者募集！
3. 平成27年度大学入試センター試験の取材について

### お 知 ら せ

1. 第4回やまがた教員養成シンポジウムの開催
2. 人文学部国際学術講演会「共振する東アジア4台湾近代教育の展開と日本」の開催
3. 農学の魅力を発信！3大学合同のパンフレットを作成しました
4. グリーンマテリアル成形加工研究センター設立国際シンポジウム & 山形大学次世代自動車用プラスチック素材研究センター国際シンポジウムについて

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成27年1月27日(火)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成27年1月14日  
山形大学

## 「東北野生動物管理研究交流会 in やまがた」を開催します！

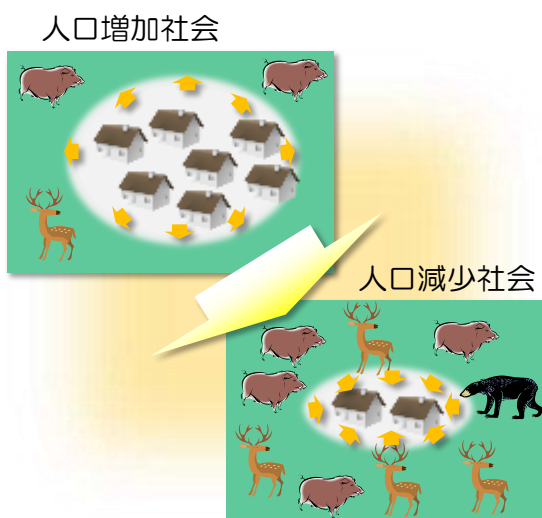
山形大学YU-COE(C)新規採択事業である「人口減少社会適合型野生動物管理システム創成拠点」のキックオフイベントとして、東北各地で深刻化する野生動物問題の解決に向けた科学・技術・政策の課題を、産官学のそれぞれの立場から議論することを目的とした研究交流会を3月7日に小白川キャンパスにて開催します。

### 【開催目的】

野生動物によってもたらされる農業被害や生活被害は、深刻な社会問題として広く認識されるようになりました。本県においても、野生鳥獣による農作物被害額は年間6億円（平成25年度）を越えており、人身被害も発生しています。これら問題の主因として、野生動物の個体数増加と同時に、農村やその周辺域における急速な人口減少（＝生業・集落活動の空白化）が考えられます。そのため、人口減少率が高い東北地方において、縮小社会に適応した新たな野生動物管理システムの構築が今まさに求められています。この研究交流会では、東北各地の昨今の取り組み事例から課題を整理し、問題解決に向けた産官学の役割について議論します。

### 【実施概要】

- 日時場所：3月7日（土）10:30～ 山形大学小白川キャンパス ※詳細は別添チラシ参照
- 参集範囲：行政職員、大学・研究機関、民間団体、関連企業、一般市民
- 実施体制：主催 当該創成拠点、共催 福島大学、後援 山形県



### 「人口減少社会適合型 野生動物管理システム創成拠点」が目指すもの

未曾有の人口減少時代に足を踏み入れた日本、特にその中でも人口減少率の高い東北地方において、「人口（＝担い手）が確保できる」ことを前提とした従来の野生動物の管理政策は行き詰まりつつあります。人口減少社会における人と野生動物との「共存」とは何か？ 本拠点では、野生動物の視点と、地域社会の視点の双方から、この難問に答えるための科学・技術・政策の創出に挑んでいます。

### （お問合せ先）

農学部 准教授 江成広斗  
電話 0235-28-2925  
E-mail: enari@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

東北野生動物管理研究交流会

in  
やまがた

# 東北の 野生動物管理 を考える

入場無料  
定員150名  
要申込:2015.2.20締切

2015.3.7 (Sat.)

10:30~17:00 (10:00開場)  
山形大学 (小白川キャンパス)  
基盤教育2号館2階222番教室

## プログラム

- ・トークセッション / 事例紹介 (ポスター展示)
- ・話題提供 『人口減少社会における新たな農村計画』
- ・討論会 : 南東北の鳥獣管理の現状と課題
- ・懇親会 (17:30~)

事例紹介の  
発表者募集

ポスター発表 募集中! 2015年2月20日(金) 締切

参加をご希望される方は、FAX(電話対応不可)またはE-mailにてお申込み下さい。詳細は裏面をご参照ください。

【主催】山形大学 YU-COE(C) 人口減少社会適合型野生動物管理システム創成拠点 研究交流会実行委員会

【共催】福島大学 【後援】山形県

【研究交流会実行委員】山形大学: 玉手英利・林田光祐・江成広斗(拠点代表)、東北野生動物保護管理センター: 宇野壮春、福島大学: 奥田圭、野生動物調査団: 江成はるか(事務局)、奥田加奈



# 東北 野生動物管理 研究交流会 in やまがた

# 東北の野生動物管理を考える

野生動物によってもたらされる産業・生活基盤への影響は、深刻な社会問題として広く認識されるようになりました。これら問題の主因として、野生動物の個体数の増加と同時に、農村やその周辺域における急速な人口(=担い手)の減少が考えられます。そのため、人口減少率が高い東北において、縮小社会に適応した新たな野生動物管理システムの構築が今まさに求められています。この研究交流会では、東北各地の昨今の取り組み事例から課題を整理し、問題解決に向けた産官学の役割について議論していきます。

## トークセッション (10:30~12:00)

### 野生動物管理における課題 — 研究・民間・行政の立場から —

講演者

- 江成広斗 (山形大学)
- 宇野壮春 (東北野生動物保護管理センター)
- 丸山哲也 (栃木県林業センター)

## 話題提供 (14:00~15:00)

### 人口減少社会における 新たな農村計画

講演者

- 林直樹 (東京大学, 国土利用再編研究所)

## 懇親会 (17:30~19:30)

### 参加者の皆様と交流しませんか!

立食形式・会費制(2000円程度:後程提示します)  
※事前申込が必要です

## 事例紹介 (12:00~14:00)

### ポスター展示 事例紹介の発表者募集中! 発表例

- ・鳥獣対策の事業紹介や事例報告
- ・野生動物の生態に関する基礎・応用研究
- ・野生動物の問題解決に向けた地域づくり

※発表を希望される方は、下記連絡先からお申込み下さい。ポスターのサイズおよび枚数は自由です(事前にご連絡ください)。

## 討論会 (15:10~16:55)

### 南東北の現状と課題 各県による話題提供

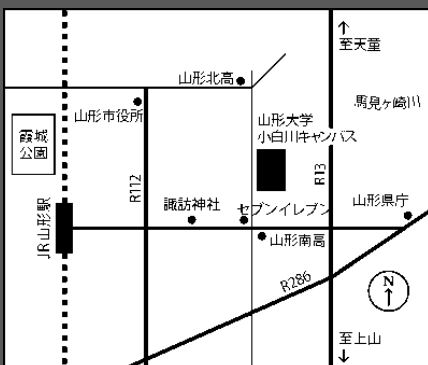
山形県・宮城県・福島県

### 討論および質疑応答

### 2015.3.7(sat.) 10:00開場

山形大学基盤教育2号館2階222番教室  
※事例紹介・懇親会は理学部1号館13番教室にて実施

山形駅より徒歩約30分。アクセス方法の詳細は山形大学HPをご参照ください。



### 入場無料・定員150名

### 申し込み期限: 2015年2月20日(金)締切

申し込み方法: FAX(電話対応不可)またはE-mailにてお申込み下さい。  
お申込みの際は、氏名・所属・連絡先・ポスター発表の有無(発表する際はタイトルと発表者名を記載)・懇親会参加の有無を記載してください。

FAX(通話不可): 0235-28-2925

E-mail: [tohoku.wildlife@gmail.com](mailto:tohoku.wildlife@gmail.com)

平成27年1月14日  
山形大学

## 山形大学学生の継続的被災地復興支援活動

### 参加者募集！ 浦戸諸島桂島観光再生ツアー ～ ふれあいほっこり 桂島ツアー ～

◇東日本大震災の被災地塩釜市浦戸桂島の復興支援のため、震災の年から継続して4期目の『浦戸諸島桂島観光再生ツアー』を実施します。

日本三景松島の唯一の有人島である浦戸四島の一つ桂島で、東日本大震災から力強く復興を始めている桂島のみなさんとお客様との心と心を繋ぎ、参加する全ての方々の「笑顔」を作ることを目的に、山形大学学生有志が実施します。

桂島特産の牡蠣を取れたてのまま焼き、自分で剥いて食べたり、島をクルーズしたり、森を散策したり、松島の絶景を海側から堪能したりと、普段の生活の中ではできない体験を満喫できます。コンビニも、信号もない、心安らぐ海と緑の自然の中で、取れたてのブランド牡蠣、海苔を、心ゆくまでご堪能ください。

◇日程【第一回】平成27年1月31日（土）～2月1日（日）

【第二回】平成27年2月28日（土）～3月1日（日）

参加費：1泊4食付き大人13,600円（小人11,400円）

行程・内容等：詳細は別添資料参照。



◇本ツアーは、基盤教育科目「現代社会を生き抜くためのプレゼンテーション学」受講生のうち20名が企画・運営を担当し、「実践的コミュニケーション学」受講生（本学、東北芸術工科大学、米沢女子短期大学）、本授業のOBOGを加え約70名の学生が運営協力・広報等のマーケティング活動を担当しています。

◇2011年から継続して浦戸諸島で支援活動を実施していますが、その過程で紡いだ桂島のみなさんとの深い繋がりから、「浦戸諸島観光再生プロジェクト」が生まれました。これまで日帰りのものを含め10回のツアーを実施しています。

◇1月18日（日）には、プレイベントとして、震災後4回目になる新春餅つき大会を開催します。本学周辺の東部地区住民のみなさん、NPO法人山形自立支援創造事業舎みちのく屋台こんにゃく道場、大曾根餅つき保存会、山形芋煮カレーうどん寄合のみなさんも参加し、オール山形で桂島のみなさんを応援します！

◇これまでの浦戸諸島での復興支援活動について

2011年6月18日から、2011年度～2014年度基盤教育科目「実践的キャリア教育学」「現代社会を生き抜くためのプレゼンテーション学」「実践的コミュニケーション学」の受講生を中心に、受講生以外の学生、山形のNPO等（NPO法人ディーコレクティブ、NPOハーバランス、NPO法人山形自立支援創造事業舎みちのく屋台こんにやく道場、大曾根餅つき保存会、NPO法人オープンハウス こんぺいとう）との協働のもと、山形の地元企業（（有）山形E旅、（株）アイ・エム・シー、（株）セロン東北、やまがたシティエフエム（株）、ウェブオンライン）の協力も得ながらこれまで、のべ1,500名以上の学生が復興支援活動に参加しています。

2012年2月には「浦戸桂島復興連絡協議会」を発足させ、宮城県、塩竈市、東北大学、一般社団法人e-front、公益財団福祉法人さわやか福祉財団、東北大学、国連大学等と会議を運営（これまで計33回開催）し、観光再生を含む復興プランの策定等を行っている。



**オール山形  
新春餅つき大会**

**開催日…2015年1月18日（日）**

**時間…11:30～13:30**

**場所…旧浦戸第二小学校前**

今年もやります**お餅つき!**

更に山形名物**玉こんにやく、手煮**(めはカレーうどん)  
も振る舞います!

参加費**無料!**ぜひお越しください!!

**※山大学生によるイベントあり!お楽しみに!**

(お問い合わせ先)  
山形大学人文学部1年 白川由季  
【TEL】080-2346-4707



<お問い合わせ>

**【授業担当教員】**

エンロールメント・マネジメント部

教授 福島 真司（ふくしま しんじ）

（TEL）023-628-4061

（e-mail）shinji-fukushima@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

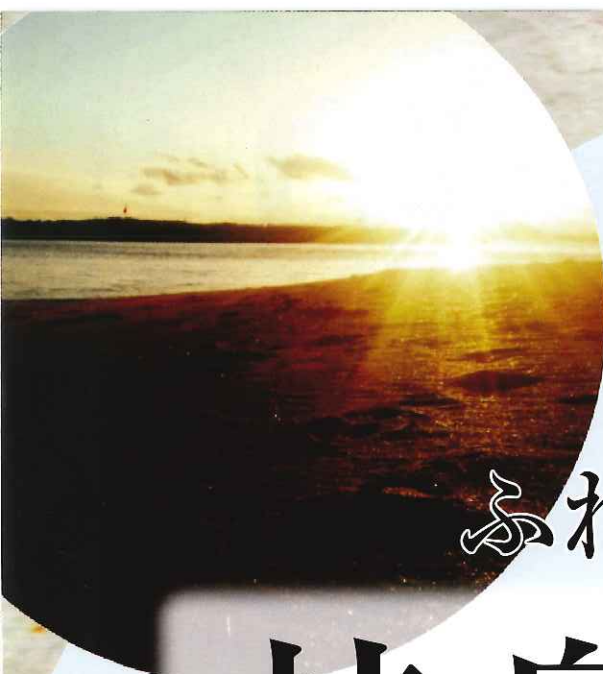
**【学生代表】**

人文部法経政策学科1年 中臺 直人（なかだい なおと）

（TEL）080-1690-2572

（e-mail）b4u2dx@yahoo.co.jp





ふれあいほっこり

# 桂島ツアー

第1回

1/31(土)-2/1(日)

募集期間:1/24(土)まで

第2回

2/28(土)-3/1(日)

募集期間:2/21(土)まで

1泊4食付!

## 料金

大人 / 13,600円

小人 / 11,400円



▲牡蠣カレー



▲牡蠣汁



▲海苔



▶焼き牡蠣

ツアーについての詳しい情報は



桂島 ツアー

検索



第1回

1/31(土)-2/1(日)

募集期間:1/24(土)まで

第2回

2/28(土)-3/1(日)

募集期間:2/21(土)まで

料金

大人 / 13,600円

小人 / 11,400円

1泊4食付!

一日目

- 7:00 山形大学出発
- 7:15 山形駅出発
- 7:30 県庁出発
- 9:53 桂島到着
- 10:00 ガイドウォーク → 一歩進むたびに新しい発見!
- 12:00 昼食
- 15:30 お土産づくり → 桂島の思い出を持ち帰ろう
- 19:00 夕食
- 星空鑑賞(自由参加)



二日目

- 朝日鑑賞(自由参加)
- 8:00 朝食
- 9:30 牡蠣養殖体験
- 昼食(焼き牡蠣)
- 12:30 お楽しみイベント → 学生が頑張ります!
- 14:31 桂島出発
- 16:50 県庁到着
- 17:00 山形駅到着
- 17:15 山形大学到着



宮城県松島湾の入り口に浮かぶ小さな島、それが桂島です。桂島には、優しい木漏れ日を感じる豊かな自然、美しい海に育てられた美味しい牡蠣、島の人々の温かい笑顔など、様々な魅力がギュッと詰まっています。散策してみると桂島の印象は歩みを進めるごとに変化し、訪れるたびに島の新たな一面を知ることが出来ます。ゆったりとした落ち着いた世界。忙しい日々を過ごすあなたに体験してほしい、「ほっとするひととき」がそこにあります。初めてなのにどこか懐かしい。そんな桂島を、ちょっとしたぞいでみませんか。



<お申し込み先>

募集型企画旅行 (有) 山形E旅  
〒990-0811 山形県山形市長町 4-5-43  
総合旅行業務取扱管理者: 金田史生  
【TEL】023-681-3139  
【FAX】023-681-3159  
【mail】mail@yamagata-etabi.com  
【営業時間】月曜~土曜 9:00-18:00  
【定休日】日曜・祝祭日  
登録番号: 山形県知事登録旅行業 2-237 号  
加盟団体: 一般社団法人全国旅行業協会

<お問い合わせ先>

山形大学 浦戸諸島桂島  
観光再生プロジェクト  
http://tour.yamant.com  
【代表】中臺直人(山形大学)  
【TEL】080-1690-2572  
【mail】b4u2dx@yahoo.co.jp

【注意事項】●民宿での宿泊となりますので、1名でのご参加の場合、同性の方と相部屋になる場合があることをご了承ください。また、カップルや2-4名様のご家族、グループでご参加の場合、1部屋でのご利用を確約いたします。(お部屋のタイプは1部屋につき、シングルベッド2名分、ソファベッド1名分、ロフト1名分の4名タイプ、また和室もご用意しております)●民宿にはアメニティ(歯ブラシ、タオル、ドライヤー等)や浴衣はございませんので、ご持参ください。●防寒対策を各自しっかりと準備してください。ツアー内で乗船することや、夜外出する場合があります。●部屋数が埋まり次第、募集を締め切らせていただきます。参加ご希望の際は、お早目にお申込みください。●最少催行人数:1名●食事条件:1日目昼・夜、2日目朝・昼●添乗員・バスガイドの同行はいたしません。山形大学学生が様々なサポートをいたします。●料金に含まれないもの:個人的性質の諸費用、また上記以外のもの●天候や道路交通事情などにより、コースや時刻が変更となる場合がございます。ご了承ください。●山形県以外からのご参加も受け付けておりますので、ご希望の方はお申込みの際にご相談ください。●アレルギー等ありましたら、お申込みの際にご相談ください。●お申込み方法:電話、FAX、電子メールにてお問い合わせください。こちらから必要書類を送らせていただきます。特定の申込書に記入の上、各出発日の1週間前(第1回目1/24、第2回目2/21)までに旅行代金を添えてお送りください。●各コース、そのほかはお送りさせていただく必要書類(「ご案内」旅行取引条件説明書類)等にてご確認ください。●民宿の空き状況によってはお申込み締め切り後でもツアー参加が可能となる場合がございます。



平成27年 1月14日  
山形大学

平成27年度大学入試センター試験の取材について  
－ 大学入試センター試験の円滑な実施にご協力をお願いします。－

◇ 大学入試センター試験の取材につきましては、別添「平成27年度大学入試センター試験の取材についてのお願い」のとおりとしますので、取材される場合は所定の期限までに各試験場担当者に連絡願います。

◇ なお、小白川地区試験場での撮影取材に当たっては、次のことに特にご留意願います。

1 1月17日(土)9時5分からの試験室撮影取材をされる場合は、理学部1号館1階ホールに8時55分(時間厳守)までにお集まり願います。

2 車で入構される場合は、大学の南門から入り、所定の報道関係者駐車場(別紙小白川地区試験場駐車場配置図を参照してください。)に駐車してください。

なお、大学正門は受験生入構のため、車等の乗り入れは禁止となっております。

(お問い合わせ先)

インフォメーション・マネージメント部入試課

前田・阿部

電話 023(628)4141

## 平成27年度大学入試センター試験の取材についてのお願い

－ 大学入試センター試験の円滑な実施にご協力をお願いします。－

山形大学

### 1 報道関係の窓口

報道関係者への対応は、本学の試験実施本部の広報担当者が行いますので、試験に関する問い合わせ等については、エンロールメント・マネジメント部入試課長（☎023-628-4140(直通)）へお願いします。

### 2 試験場での取材

試験場での取材は、あらかじめ許可を得てください。

取材の際は、各社記者証を提示し、腕章等で報道関係者であることを明示してください。

### 3 試験室内での撮影

試験室内での撮影は、1月17日（土）のみとし、試験場責任者の指定する職員の立会いのもとで行ってください。

(1) 大学入試センター試験の撮影については、1月15日（木）正午（厳守）までに各試験場責任者の了承を得てください。

- ・ 小白川地区試験場責任者 … 小白川キャンパス長  
（連絡先：小白川キャンパス事務部教務課学務担当☎023-628-4405(直通)）
- ・ 工学部試験場責任者 … 工学部長  
（連絡先：工学部入試担当☎0238-26-3013(直通)）
- ・ 県立鶴岡中央高等学校試験場責任者 … 農学部長  
（連絡先：農学部学務担当☎0235-28-2808(直通)）
- ・ 県立新庄神室産業高等学校試験場責任者 … 東北芸術工科大学入試部長  
（連絡先：東北芸術工科大学入試課長 ☎023-627-2011(直通)）

(2) 1月17日（土）は、午前8時55分まで報道関係者控室等に集合してください。

(3) 撮影は、試験場責任者が指定した試験室でのみ許可することとします。

(4) 撮影時間は、午前9時5分から10分以内とします。

必ず午前9時15分には退室してください。

(5) 撮影に当たっては、受験者に動揺を与えないよう注意するとともに、試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。

(6) 受験者が特定できるような撮影は、絶対に避けてください。

(7) 本学が指定する試験室以外の「試験室」及び「試験室のある建物」への立ち入りはできません。

### 4 障害等のある受験者の取材

障害等のある受験者の取材については、あらかじめ本人の了解を得る必要がありますので、試験場責任者の指示に従ってください。

### 5 不測の事態発生時の取材について

不測の事態が発生して、試験が中止された場合などにおいても、必ず試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。



- 6 当日の試験実施状況(※)は、以下の時間にエンロールメント・マネジメント部入試課から報道各社へFAX送信予定ですので、円滑な試験実施のため、試験時間中の問い合わせはご遠慮ください。  
発表時間はあくまでも予定ですので、あらかじめご了承ください。

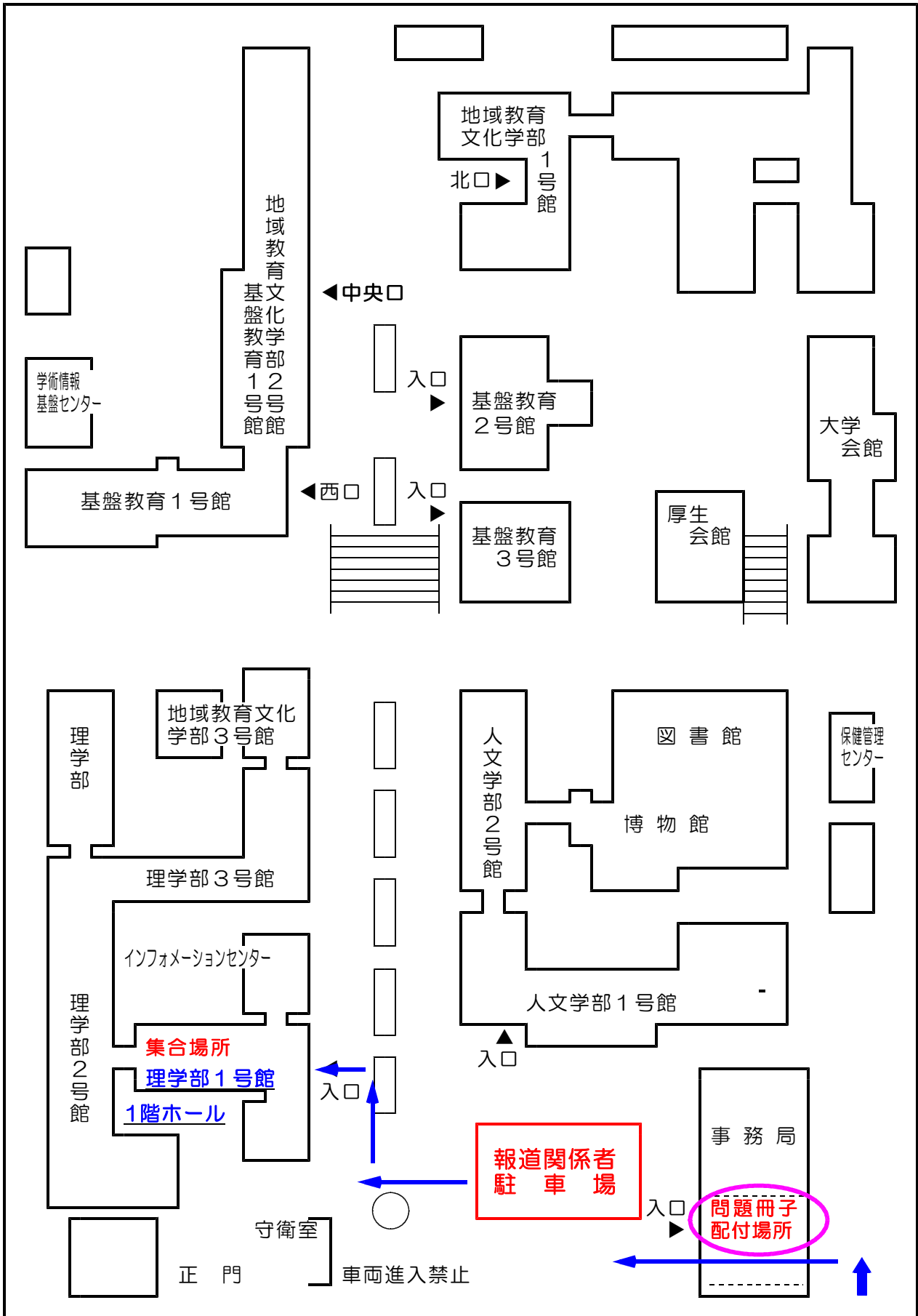
区 分	1月17日(土)				1月18日(日)			
科 目	地理歴史, 公民	国語	外国語 (筆記)	外国語 (リスニング)	理科①	数学①	数学②	理科②
発表予定 時間	13:20 以降	16:10 以降		18:20 以降	13:20 以降	16:05 以降		17:55 以降

(※) 志願者数, 欠席した者の人数, 受験した者の人数をお知らせします。

7 問題冊子及び科目別正解の発表

- (1) 問題冊子は、各試験時間終了後に各試験場で配付します。
- (2) 正解及び配点は、試験終了後、大学入試センターにおいて、大学入試センターのホームページを通じて発表します。

# 小白川地区試験場駐車場配置図



車の出入りはできません。



平成27年1月14日  
山形大学

\*詳細は別添の資料をご覧ください。

## 1. 第4回やまがた教員養成シンポジウムの開催

現在、「教員の質の向上」に向けて地域と大学との協力が問われており、これからの大学は、教師に採用されるまでの学部4年間だけでなく、教育委員会の行う研修や地域の学校改革の動きと協同することで、教職の専門性を生涯にわたって向上させる教師教育機関に転換する必要があります。この協同の在り方は、日本の教師教育の方向性や、さらには日本の子どもたちの学力形成をも決定づけてしまう可能性があります。

大学院教育実践研究科と地域教育文化学部では、公益財団法人やまがた教育振興財団とともに、第4回の教員養成シンポジウム「学校と大学の協力が生み出す可能性—教職の専門性を開発する—」を開催し、子どもの学力形成で先進的な福井県の教員研修の在り方や、山形県内での学校改革の動きをもとに、大学と地域の協同（コラボレーション）について、話し合いたいと思います。

◆日時：2月1日（日）13:00～16:00

◆場所：山形国際ホテル

◆内容：第1部 現職研修における協同 第2部 学校改革における協同

◆対象：学生、教職員、一般の方 ※参加費無料

## 2. 人文学部国際学術講演会「共振する東アジア4 台湾近代教育の展開と日本」の開催

人文学部で毎年開催している国際学術講演会では、今回、共振する東アジアシリーズ4回目として、台湾師範大学及び台湾大学から講師を迎え、「台湾近代教育の展開と日本—植民地統治・旧制高校そして現在—」をテーマに開催します。対象は、高校生、学生、一般の方で参加費は無料です。

当日は、旧制山形高校のパネル展示も行っていますので、是非ご覧下さい。

◆日時：2月11日（水）13:00～17:00

◆場所：山形大学小白川キャンパス 人文学部 301講義室

◆講演内容：「植民地期における近代学校の設立と台湾社会」

「旧制高等学校及び人材の育成—台北高等学校を中心として」

「戦後台湾の高等学校における日本語教育」

## 3. 農学の魅力を発信！3大学合同のパンフレットを作成しました

農学部では、新潟大学農学部、秋田県立大学生物資源科学部と、平成25年9月に連携協力に関する協定を締結し、学生の教育・研究・交流や共同研究などを通じて互いの活動の充実を図ってきました。今回、幅広い農学の特色・魅力を特に高校生や保護者、学校関係者等にアピールし、農学に興味を持ってもらうとともに、進路選択の参考にしてもらおうと、各大学で行われている研究を紹介したパンフレットを合同で作成しました。パンフレットは高校訪問時に配付するほか、農学部学務担当窓口でも配付しています。

#### 4. グリーンマテリアル成形加工研究センター設立国際シンポジウム&山形大学次世代自動車用プラスチック素材研究センター国際シンポジウムについて

山形大学グリーンマテリアル成形加工研究センターは、平成23年度に設立され、プラスチックやソフトマテリアルをはじめとする地球にやさしい新たな機能材料、最先端成形加工技術によりその素形材を研究・開発することを通して、地域に根ざした新たな「ものづくり」研究拠点を形成することを目的としています。

また、今年度新たに設立した「次世代自動車プラスチック素材研究センター」は、次世代の自動車および移動体車両用のプラスチック・ソフトマテリアル、複合材料に関する新たな機能材料、最先端成形加工技術によりその素形材を研究・開発することを通して、東北地方、地域に根ざした新たな「ものづくり」研究拠点形成を目指します。

両センターのさらなる発展を目指し、二つのセンター合同で、国際シンポジウムを開催します。

◆日 時：1月22日(木)～24日(土)

(国際シンポは23日(9:00-17:45)、24日(9:00-18:20))

◆場 所：山形大学米沢キャンパス 100周年記念ホール

◆講演内容：グリーンマテリアルから成形加工、自動車用プラスチック関連まで世界中から多くのゲストをお呼びして講演していただきます。



第4回 やまがた教員養成シンポジウム

# 学校と大学の協同が 生み出す可能性

## —教職の専門性を開発する—



2/1 (日) 13:00  
|  
16:00

### プログラム

#### 第一部 現職研修における協同 —福井県の事例に学ぶ—

&lt;報告&gt;

福井県教育研究所 富澤宏二

&lt;コーディネーター&gt;

山形大学 江間史明

#### 第二部 学校改革における協同 —山形県の事例に学ぶ—

&lt;報告&gt;

山形県立楯岡高等学校 小林英治

山形県新庄市立新庄中学校 笹原啓一・佐藤純

&lt;コーディネーター&gt;

山形大学 森田智幸

#### 指定討論

山形県教育庁 中井義時

山形県教育センター 山科勝

山形大学 樋渡美千代



#### 意見交換

### 会場：山形国際ホテル

※当日はホテルの駐車場をご利用ください。

- ◆当日は12時30分に受付を開始します。
- ◆参加費は無料です。参加を希望する方は、以下のメールまたはFAXに氏名と所属と連絡先を記入して申し込んでください
- ◆申込は2015年1月28日(水)を締切とさせていただきます。

#### 問い合わせ先

山形大学地域教育文化学部事務室総務担当

TEL: 023(628)4304 FAX: 023(628)4313

E-mail: kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp





送信先: 山形大学地域教育文化学部事務室総務担当 宛

FAX: 023-628-4313

第4回 やまがた教員養成シンポジウム  
学校と大学の協同が生み出す可能性  
—教職の専門性を開発する—

◆ 上記シンポジウムに参加ご希望の方は、本申込書に記入の上、上記へFAX願います。

申込締切り: 平成27年 1月28日(水)

参加申込書【FAX専用】

ご氏名(代表者)	ご職業(所属)(代表者)
ご連絡先 住所	電話番号 E-Mailアドレス
ご氏名	ご職業(所属)
ご連絡先 住所	電話番号 E-Mailアドレス
ご氏名	ご職業(所属)
ご連絡先 住所	電話番号 E-Mailアドレス

\*お申し込みの際にいただいた個人情報、本会のみ利用させていただき、それ以外の目的での利用はいたしません。また、本会開催後に破棄させていただきます。



# 共振する東アジア4

# 台湾近代教育の 展開と日本

—植民地統治・旧制高校として現在—



旧制山形高校時代の写真(ふすま同窓会提供)

## 2015.2.11 水

午後1:00～午後5:00

[会場] 山形大学小白川キャンパス  
人文学部 301講義室

[対象] 高校生・大学生・一般市民

[参加費] 無料

[使用言語] 日本語

[問い合わせ先] 人文学部事務室 ☎023-628-4203  
jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

人文学部ホームページ <http://www-h.yamagata-u.ac.jp/>

### 植民地期における近代学校の成立と台湾社会

講演者: 台湾師範大学台湾史研究所 副教授 許佩賢  
コメンテーター: 山形大学人文学部 准教授 森岡卓司

### 旧制高等学校及び人材の育成—台北高等学校を中心として

講演者: 台湾師範大学台湾史研究所 副教授 蔡錦堂  
コメンテーター: ふすま同窓会 会長 長沼龍平

### 戦後台湾の高等学校における日本語教育

講演者: 台湾大学文学院日本語学科 教授 陳明姿  
コメンテーター: 山形大学人文学部 准教授 中澤信幸

詳しくはチラシ裏面をご覧ください

旧制山形高校パネル展示 同時開催



# 日本とのかかわりから見る 台湾における人材育成の近代史

1895年、日清戦争に勝利した日本は台湾統治を開始した。日本は学校教育を通して忠君愛国の精神を台湾人に植え付け、植民地統治に協力する人材を育成した。さらに、旧制の台北帝国大学や台北高等学校が設立され、台湾において新たな青年エリート達も育っていく。一方、台湾の日本語教育は戦前から現代までさまざまな変遷を遂げた。そこには台湾と日本の交錯する時代相が映し出されている。台湾は、日本の教育制度あるいは日本語教育に対しそれをどう受容し超克していったのか。また、それは台湾人としてのアイデンティティ形成にどうつながったのか。戦前から現代にいたる、台湾における人材育成の歴史の一端を日本とのかかわりから見てみたい。

**総司会** 山形大学人文学部准教授 **中村 篤志**

## 植民地期における近代学校の成立と台湾社会

台湾師範大学台湾史研究所 副教授 **許 佩 賢**

日本統治下の台湾において、植民地政府は近代学校システムを構築し、植民地統治に協力する新人種を育成しようとした。その反面、台湾人としても日本語を通して得た近代知識を基礎に、世界との接点を築き立身出世の道を開いた。同時に台湾人は、日本の植民地政権に対抗し民衆の権利を獲得するべく、新たなアイデンティティの確立を模索した。

## 旧制高等学校及び人材の育成—台北高等学校を中心として

台湾師範大学台湾史研究所 副教授 **蔡 錦 堂**

著名な作家三浦朱門は、戦前の日本にあった「旧制高等学校」を「大日本帝国のぜいたく品」と評した。合計38校の旧制高等学校とは一体どんなものなのか、そこで養成されたエリート達はどんな教育を受けたのか、卒業後どのような社会的役割を演じ、貢献をしたのか。本報告は戦前日本の植民地台湾にある旧制台北高等学校及びその人材育成について論じるものである。

## 戦後台湾の高等学校における日本語教育

台湾大学文學院日本語學科 教授 **陳 明 姿**

台湾の教育部（文部科学省）は、国際化・多様化の社会に対応するため、1983年に第二外国語（英語以外の外国語）を高等学校の選択科目に組み入れた。しかし、第二外国語を選択科目として開く高等学校が一向に増えない現状を鑑み、1995年に教育部は再び奨励すべく、第二外国語を今度は正式に「高級中學課程標準」に取り入れた。ここでは、戦後台湾の高等学校の日本語教育の実況について発表したい。

### スケジュール

2月11日（水）13:00 開会挨拶（山形大学人文学部長 北川忠明）

13:05～14:10 許佩賢（コメンテーター：森岡卓司）

～15分休憩～

14:25～15:30 蔡錦堂（コメンテーター：長沼龍平）

～15分休憩～

13:45～16:50 陳明姿（コメンテーター：中澤信幸）

16:50～17:00 閉会挨拶（山形大学人文学部副学部長 國方敬司）

平成27年1月14日  
山形大学

## 農学の魅力を発信！

### 新潟大学農学部・秋田県立大学生物資源科学部・山形大学農学部による 合同パンフレットを作成しました！

新潟大学農学部、秋田県立大学生物資源科学部、山形大学農学部は、幅広い農学の特色・魅力を発信するため、三大学合同のパンフレットを作成しました。

国立大学法人新潟大学農学部、公立大学法人秋田県立大学生物資源科学部、国立大学法人山形大学農学部は、平成25年9月に連携協力に関する協定を締結し、学生の教育・研究・交流や共同研究などを通じて互いの活動の充実を図ってきました。

その一環として、幅広い農学の特色・魅力を特に高校生や保護者、学校関係者等にアピールし、農学に興味を持ってもらうとともに、進路選択の参考にしてもらおうと、各大学で行われている研究を紹介したパンフレットを作成しました。

項目は、「生産に関する研究」・「食・食品に関する研究」・「環境に関する研究」の3つに大きく分け、各大学で行われている研究を写真や図および短い説明文（キャプション）で紹介し、簡潔で見やすい内容となっております。



今後は、高校訪問などを通して配布を行っていく予定です。  
なお、本パンフレットは農学部学務担当窓口でも配布しております。

(お問合せ先)  
農学部企画広報室  
電話 0235-28-2803



# 人類の未来を拓く 「<sup>ひら</sup>農学」

私たちは、日本海沿岸の北陸  
および東北地域の「食料」、  
「生命」、「環境」を支える  
教育・研究を連携して推進します。



新潟大学農学部



山形大学農学部



秋田県立大学生物資源科学部

国立大学法人新潟大学農学部，国立大学法人山形大学農学部および公立大学法人秋田県立大学生物資源科学部は，平成25年9月に連携協力に関する協定を締結しました。



平成 27 年 1 月 14 日

山 形 大 学

グリーンマテリアル成形加工研究センター設立国際シンポジウム  
&山形大学次世代自動車用プラスチック素材研究センター  
国際シンポジウムについて

## シンポジウムの趣旨

山形大学グリーンマテリアル成形加工研究センターは、平成 23 年度に設立され、プラスチックやソフトマテリアルをはじめとする地球にやさしい新たな機能材料、最先端成形加工技術によりその素形材を研究・開発することを通して、地域に根ざした新たな「ものづくり」研究拠点を形成することを目的としています。この度、山形大学グリーンマテリアル加工研究センターが竣工します。

また、本年度新たに「次世代自動車プラスチック素材研究センター」を設立し、次世代の自動車および移動体車両用のプラスチック・ソフトマテリアル、複合材料に関する新たな機能材料、最先端成形加工技術によりその素形材を研究・開発することを通して、東北地方、地域に根ざした新たな「ものづくり」研究拠点形成を目指します。

両センターのさらなる発展を目指し、二つのセンター合同で、国際シンポジウムを開催します。

## 詳細について

日 時：平成 27 年 1 月 22 日(木)～24 日(土)

(国際シンポは 23 日(9:00-17:45)、24 日(9:00-18:20))

場 所：山形大学米沢キャンパス 100 周年記念ホール

懇親会：24 日 18:30 - 第一ホテル東京 米沢にて開催 (3000 円)

講演者：大嶋正裕 (京都大学、プラスチック成形加工学会会長)

鞠谷雄士 (東京工業大、繊維学会会長)、

伊藤耕三 (東京大学、ImPACT プログラムマネージャー)

Thomas P Russel (マサチューセッツ大学、Macromolecules エディタ)

Meifang Zhu (東華大学、高分子工学部長) など

主 催：山形大学グリーンマテリアル成形加工研究センター

山形大学次世代自動車用プラスチック素材加工研究センター (H26 年度 YU-COE (E) 採択)

山形大学大学院理工学研究科高分子精密加工研究室 (伊藤浩志研究室)

詳細は、ウェブサイト <http://greenmap.yz.yamagata-u.ac.jp/interc2015.html> をご確認ください。

### <問合せ先>

山形大学グリーンマテリアル成形加工研究センター

山形大学次世代自動車用プラスチック素材加工研究センター

センター長 伊藤 浩志 (電話 0238-26-3081)